

# 第1回教育委員会臨時会議事要録

詳細—教育部庶務課 電話03-3981-1141

附属機関又は 会議体の名称		第1回教育委員会臨時会議事要録
事務局（担当課）		教育部庶務課
開催日時		令和5年1月24日（火） 午前10時00分
開催場所		教育委員会室
出席者	委員	金子 智雄（教育長）、 樋口 郁代（教育長職務代理者）、酒井 朗、村瀬 愛、大澤 誠
	その他	教育部長、庶務課長、教育施策推進担当課長、学務課長、放課後対策課長、学校施設課長、指導課長、教育センター所長
	事務局	庶務課庶務グループ
公開の可否		一部公開 傍聴人 1人
非公開・一部公開の場合は、その理由		報告事項第4号は、人事案件のため非公開とする。
会議次第		<p>協議事項第1号 令和4年度幼稚園修了式、小・中学校卒業式祝辞について（指導課）</p> <p>協議事項第2号 巣鴨小学校付近の旅館業営業許可申請について（学校施設課）</p> <p>協議事項第3号 朋有小学校付近の旅館業営業許可申請について（学校施設課）</p> <p>協議事項第4号 豊島区小・中学校の標準的な運動場整備方針の改定について（学校施設課）</p> <p>報告事項第1号 新型コロナウイルス感染症の発生状況等について（学務課）</p> <p>報告事項第2号 令和4年度3学期始め出席状況調査の結果について（指導課）</p> <p>報告事項第3号 自閉症・情緒障害特別支援学級について（教育センター）</p> <p>報告事項第4号 会計年度任用職員(学級運営補助員)の配置について（教育センター）</p> <p>報告事項第5号 令和5年度 周年記念式典の開催日について（庶務課）</p> <p>報告事項第6号 豊島区立小・中学校、幼稚園における令和4年度卒業式、修了式及び令和5年度入学式、入園式の出席者について（指導課）</p>

# 第1回教育委員会臨時会議事要録

開催日 令和5年1月24日  
開催場所 教育委員会室

金子教育長)

おはようございます。

早速第1回教育委員会臨時会、開催させていただきます。

署名委員をお願いいたします。酒井委員、村瀬委員、宜しくお願い致します。

傍聴1名ということです。宜しいでしょうか。

(委員全員了承)

金子教育長)

お入りください。

<傍聴者入場>

金子教育長)

それでは、議事に入ります。本日は協議事項が4件、報告事項が6件となっております。

(1) 協議事項第1号 令和4年度幼稚園修了式、小・中学校卒業式の祝辞について

(2) 報告事項第6号 豊島区立小・中学校、幼稚園における令和4年度卒業式、修了式及び令和5年度入学式、入園式の出席者について

金子教育長)

まず初めに協議事項の第1号、それから関連のある報告事項の第6号、併せましてご審議頂きたいと思います。説明の方、宜しくお願い致します。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

まず、祝辞の検討をしますか。その上で、後で報告をお願いします。

案文は以上でございますが、如何でしょうか。

どうぞ、村瀬委員。

村瀬委員)

メールでここはという所を送らせて頂いたので、それをもう一度言った方がいいですか。

指導課長)

先に頂いているのですが、土台を皆さん一緒にしたので、最初の案を出しています。

金子教育長)

なるほど。今読んだものは案文として、こちらが出したものであるということでしょうか。

指導課長)

はい。そうです。

金子教育長)

どうでしょうか。では、少し簡単にこの点、この点というように言って頂いてもいいですか。記録に残す為にお願いします。最初、小学校をお願いします。

村瀬委員)

制限がある中でという形にして、誰もが毎日楽しいと感じているという書き方になっています。色々な子供もいると思うので、誰もが楽しいと感じていると決定してしまうのは、「誰もが楽しいと感じるように、頑張って努力してきた」というのであればいいですが。誰もが毎日楽しいと感じることが出来る学校生活を実現と書いて、100%楽しかったという感じですか。楽しい子は楽しいのですが、そうでもなかった子は少し響かないかもしれないので、配慮をした方がいいと思います。

金子教育長)

分かります。

村瀬委員)

私なりに考えました。あまり気にしないでください。

金子教育長)

小学校はそこまでですか。中学の方は。苦勞を感じさせて、申し訳ありません。

村瀬委員)

高野区長が謝っているのですか、みんなが。

金子教育長)

そうです。高野区長のせいではないですから。

村瀬委員)

そのように思いました。もちろん、もっと伸び伸びさせてあげたいという気持ちは誰にでもあるのですが、謝るのはどうなのかと思い、消してみても、最後の方に消した「解決へ」というのが、その前の行で「解決」という言葉があるので、少し違う言葉にするか、もう消してしまうかと思いました。

金子教育長)

なしで通じます。

村瀬委員)

あまり気にしないでください。

金子教育長)

いえいえ。良くなると思います。

今、おっしゃって頂いたのは全部その方が良いと私は思います。

特に異論ないですか。それ以外の部分は、いかがでしょうか。樋口委員。

村瀬委員)

樋口委員、お願いします。

金子教育長)

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

では、小学校の方。

私も村瀬委員の意見に賛成です。前半の所です。細かい事で恐縮なのですが。

金子教育長)

どうぞ。

樋口委員)

令和4年度は、第三段落のグループでステージを突破いたしました。の「いたす」は、自分がしたわけではないから、「突破しました」にしてください。

金子教育長)

いたを取る。

樋口委員)

それから次の段落の2行目、「より解決」という言葉があります。言葉で言えば、より解決をときちんと言えますが、文章にすると、より解決に見えてしまうので、「より」はなくしたらどうでしょうか。

それから、3行目が「歩んでこられた」、子供だから「歩んできた」でいいのではないですか。

それから、その段落の最後の「必ず解決」は、必ずは出来ないと思うので。

金子教育長)

「必ず」を取りましょうか。

樋口委員)

「必ず」は要らないと思いました。それから、最後の段落の「たくましく成長していくこと」。それから日付が24日だと思います。

指導課長)

24です。失礼しました。

樋口委員)

取りあえず、小学校はここまでです。

金子教育長)

ありがとうございます。宜しいですか。今頂いた内容で修正します。

樋口委員)

中学校は、またあるのですが。他に他の委員のご意見を伺いますか。

金子教育長)

どうしましょうか。先に小学校を固めましょう。いかがでしょうか。

酒井委員)

中学校はありますが、小学校はないです。

金子教育長)

宜しいですか。

大澤委員も宜しいですか。

では、先に行きます。中学校、更にございましたらお願いします。

樋口委員)

いいですか。続けさせて頂きます。

私も先程の村瀬委員と同感で、区長や教育委員会が「ごめんなさい」と言い過ぎていると思うのが少し気になりました。

金子教育長)

では、取りましょう。

樋口委員)

それから、2段落目の近い将来、この困難な状況は必ず克服出来ると感じずにはられません。そういう論調では世の中なくなってきたおり、ウィズコロナの時代になったので、そこまで言わなくてもいいと思っております。例えば、「近い将来、そのたくましきで道を切り開いていくと思います。」そのような感じをお願いいたします。

そのたくましきで道を切り開いていくと思います。これは、自分だけではなくて、世の中もという意味合いも込めて言っております。

それから、令和4年がということの段落の5行目です。何事に対しても自分で考えると思えるのは厳密には違うかもしれませんが、少し言葉の重なりを感じるので、「自分で深く考え」ではいかがですか。

金子教育長)

結構です。

樋口委員)

深く考えることを大切に、それからその次の行で、その原因を、また考えと、ずっと考えてしまっているの、その原因を分析して、次の体制に生かすなど「など」は平仮名でいきたいと思います。思考力を高める、みずからは要りません。

それから、「今日の輝かしい結果を収める」がいいと思います。これはさすがにこだわりませんが。

それから、「現在」という言葉の段落の2行目は社会で活躍する年代に成長するわけではないので、そうなのかもしれませんが、本人たちが成長するのだから、「社会で活躍する人へと」というのはどうでしょう。

その次の行、「一人ひとりの持つ」は要らないと思うので、一人ひとりの力を磨くとともに、「解決」は、これは要らないと思います。解決だけの原動力ではないからです。

最後の段落の下から2行目。「意見交流」というのはただ交流しているだけにすぎないので、周囲の人と話し合いなどです。以上です。

金子教育長)

宜しいですか。

酒井委員)

文書は前に転送したと思います。中学校の方でメッセージの所に、豊かな未来を切り開こうというメッセージになっていて、最後の締めは豊かな人生を切り開いていこうとなっていて、どちらがいいかということと、どちらかに揃えたほうが良いのではないのでしょうか。

金子教育長)

豊かな未来というメッセージになっていて、豊かな人生をとっている。

酒井委員)

豊かな人生を切り開こうと、揃えたほうが良いのではないかと思いました。あとは今、おっしゃった通りです。

金子教育長)

豊かな人生をとっているのですか。

分かりました。

樋口委員)

未来の方が良いです。

金子教育長)

未来の方が良いですか。最初に合わせて。最後を。

酒井委員)

未来社会の未来になってしまうので、その前の文も直さないと、繰り返しになってしまいます。

金子教育長)

この社会の担い手としての方がいいですか。

酒井委員)

豊かな未来を切り開くという。

前回お話のあったジェンダーについて。

金子教育長)

馬場咲希さん。

指導課長)

すみませんでした。

酒井委員)

大変良かったと思います。スポーツと将棋で良いと思います。ありがとうございます。

金子教育長)

宜しければ、今のご指摘を入れまして、修文したいと思います。

樋口委員)

すみません。幼稚園の方でいいですか。

3行目、「幼稚園でお友達や先生と、いっぱい」なのかもしれないけれど、これはここを消して、「先生と楽しい思い出がたくさん出来ましたね」というのはどうでしょうか。  
金子教育長)

良いと思います。

樋口委員)

そうすると、そこに絵があるので、次の文の「ね」は削って、小学生で丸。

それから、後ろから2行目の「今後もお子様が多くの学びや遊びに触れる」というほど、軽くないから、「遊びを通し」とかと思いました。ごめんなさい。毎年同じなのかもしれませんが、申し訳ないです。

金子教育長)

その方が実態に合っていると思います。

樋口委員)

以上です。

分かりました。

指導課長、宜しいですか。

指導課長)

スムーズにいった良かったと思っております。事前に見て頂いて、ありがとうございます。これで修文いたします。

金子教育長)

もう一回、確認をお願いいたします。

指導課長)

もう一回、お出しした上で、次に決定になるようにしたいと思います。ありがとうございます。

金子教育長)

宜しいでしょうか。

もう一点、どうぞ。

樋口委員)

小学校の方で。今大会とか、今回とか、すごくそこばかりが入ってきてしまうので、もし違っていたら音通りでもいいのですが、令和4年は、F I F Aの所なのですが、真ん中あたり、「今大会は」は別になくてもいいと思います。日本代表を紹介するなど、選手の活躍が光っていましたとかはどうですか。

指導課長)

日本と重なること、今大会で、次、またありますので。

樋口委員)

次の行が「仲間とともに」の「とも」は平仮名でもいいですが、漢字のほうがよりいいと思います。「目標」って、普通共通ではないかと思うので、「仲間と共に目標に向かっ

て努力を続け」、「し続け」の「し」は要らないと思います。

今回のことを言っているわけですから、別に今回は要らないと私は思っていて、「姿勢が成果に結びつきました」でいいと思ったのですが、いかがでしょうか。

金子教育長)

貴重な意見をありがとうございます。

宜しいでしょうか。もし終わった後でお気づきの点がありましたら、またメール等でお知らせください。宜しくお願いします。

では、修文については以上を踏まえて、再度提出させていただきます。

あわせて、報告事項の第6号について、ご説明頂けますか。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願い致します。

宜しいですかね。

(委員全員異議なし 協議事項第1号了承)

(委員全員異議なし 報告事項第6号了承)

#### (3) 協議事項第2号 巣鴨小学校付近の旅館業営業許可申請について

金子教育長)

それでは次へ参ります。協議事項の第2号、巣鴨小学校付近の旅館業営業の許可申請について、ご説明をお願いします。

学校施設課長。

<学校施設課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願い致します。

別紙3のような回答で宜しいでしょうか。ちなみに参考資料の図面で見ても、学校の校庭の入り口の前に大体誘導員がいて、そこからは見える範囲です。

宜しいでしょうか。

では、そのように進めさせていただきます。ありがとうございました。

以上で、協議事項第2号については了解をいたしました。

(委員全員異議なし 協議事項第2号了承)

#### (4) 協議事項第3号 朋有小学校付近の旅館業営業許可申請について

金子教育長)

続きまして、協議事項第3号、朋有小学校の付近の旅館業の営業許可申請について、ご説明をお願いします。

学校施設課長。

<学校施設課長 資料説明>

金子教育長)

説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願い致します。  
インバウンドも戻ってきているのでしょうか。同じビルのもう一つ上ということでございます。前回のものを踏まえて、案文を作らせて頂きます。別紙3の回答で宜しいでしょうか。

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

もちろん、構わないのですが、学校によって、それは違うのだろうとは思いつつも、騒音抑制、廃棄物不法投棄禁止はとりわけ強調されているのですが、そういう状況があったのでしょうか。

金子教育長)

学校からの記載の方にそれが入っているのでしょうか。

学校施設課長)

学校からの記載で特にそういった実績があったという報告は受けてはおりませんが、こういうことに気をつけて欲しいという学校側からの回答ということで、それについては、こちらの回答文の方で同じように記載をさせて頂いた所でございます。

金子教育長)

7階をやった時の回答があるはずですか。それも同じですか。

学校施設課長)

すみません。それについては、現状すぐに回答出来ませんので、確認をしておきたいと思っています。

金子教育長)

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

教育長から保健所長に回答する回答文だから学校の立地条件によって、様々だという事は理解をしています。だから全く同じでなくて良いと思っていますのですが、巢鴨小学校と今回二つが同時に出たもので、両方を少し見比べてしまいました。そうしたら、これが強調されていたので、何かあったのかと思って、質問させて頂いただけです。

この通りで、もちろん構いません。

金子教育長)

特別に騒音問題であるとか、廃棄物、不法投棄が具体的にこうだったのだという話は特には聞いていません。

学校施設課長。

学校施設課長)

当該学校からそういった報告は受けておりません。

金子教育長)

書いている意味がありますか。

事務に確認するという事で宜しいですか。

樋口委員)

もちろんです。

金子教育長)

分かりました。ではその関係を後で少し確認してください。

酒井委員)

よろしいですか。

金子教育長)

どうぞ、酒井委員。

酒井委員)

今おっしゃられて、確かにその通りでした。教育委員会から保健所長に出すのは、教育上好ましくない環境ということになるのだと思うのですが、そうしますと、児童の被害はもちろんです。要するに、子供の教育上、甚だしい騒音ですとか、甚だしくごみが散らかっているということであれば、問題なのですが、それを越えて、私的なものに対して、教育委員会として注文をつけるとなると良くないのではないかという気も致しました。

金子教育長)

分かります。

いかがでしょうか。その辺、少し確認頂いて、他の所でも、他の学校の件についても、大体入っているような言葉なのか。特にここが心配だということがあれば、もちろんオーケーです。一般的に心配なことだけ書いたのだということであれば、取ってしまうということもあります。念のために書いておくということでも悪いことはないでしょう。

という事なので、騒音とそれから廃棄物のところは実態なりということについて、確認を頂いて、改めて必要ない所であれば、その部分を修文して構いません。ということで宜しいですか。条件付ということで了解をしたいと思います。

それでは、そのようなところで、協議事項3については了承と致します。ありがとうございました。

(委員全員異議なし 協議事項第3号了承)

#### (5) 協議事項第4号 豊島区小・中学校の標準的な運動場整備方針の改定について

金子教育長)

続いて、協議事項の第4号、豊島区小・中学校の標準的な運動場整備方針の改定について、ご説明をいただきます。

学校施設課長、お願いします。

<学校施設課長 資料説明>

金子教育長)

整備方針を改定したいということでの協議であります。説明終わりました。ご質問、ご

意見ございましたらお願い致します。

熱交換塗料など、若干テクニカルなワードもありますが大丈夫でしょうか。分からないところがあれば言ってください。

酒井委員。

酒井委員)

こういうことが全く分からないので、質問させて頂きたいのですが。

小学校がこれまで熱交換塗料を施す事ということをもう少し広げて遮熱性塗料でも良いのではないのでしょうか。

金子教育長)

でも良いのではないかと。

酒井委員)

そこまでは分かったのですが、改定案の文章には、「など」が入ってしまっていて、そうするとそれ以外でも、その二つ以外でも大丈夫という事になっていますが、その「など」はどういう意味になりますでしょうか。

金子教育長)

学校施設課長。

学校施設課長)

おっしゃるように、などがついているというのは新技術がまた出た場合に対応出来るかどうかという部分で検討の幅を広げたいという意味があります。

酒井委員)

ええ、対応するということですね。

金子教育長)

学校施設課長。

学校施設課長)

そうです。今回、熱交換塗料とするとしてことで検討の幅が枷になってしまうという側面が必ずしもあったという事で、他のメーカーからも色々な形でこういう検証結果が出ていますといった、表面温度の測定結果なども提出頂いている所ではあるのですが、これで断らざるを得なかったという事で、こうした検討の幅を広げた上で、熱交換塗料を変わず採用するかもしれませんが、工事所管の方でそちらを判断して頂けるようにしたいというものでございます。

酒井委員)

承知しました。

金子教育長)

という理由です。宜しいですか。

酒井委員。

酒井委員)

熱中症の抑止という事に資するのであれば、塗料でも問題ないといえますか、そういう理解で宜しいですか。

金子教育長)

学校施設課長。

学校施設課長)

ご指摘の通りでございます。

金子教育長)

他にありますか。

酒井委員)

もう一つは、小学校、中学校は人工芝の整備も進めていこうという考え方で。小学校は全天候型舗装、塗装にするという。特に片方は人工芝に向かいつつあり、片方は人工芝ではないという、どうして校種によって、グラウンド整備の方針が随分違うのかというのが疑問なのですが。

金子教育長)

いかがでしょうか。

学校施設課長。

学校施設課長)

今回、人工芝、中学校での導入について、検討したいという所ですが、小学校においても人工芝化しないのかというお尋ねかとは思いますが。今後中学校の検証も踏まえた上で、小学校において、比較検討は変わらず続けていきたいと思っております。現状、ゴムチッププラス熱交換ということで仕様を定めていますが、熱、夏場の耐熱性ですとか、散水がいるといったような所も含めて、人工芝、表面温度が上がりやすいという側面もありますので、そうしたところも踏まえて、小学校については、今回の改定においてはゴムチップで導入校等の検証を踏まえて、小学校の方でも検討については、変わらず継続してまいりたいと考えております。

金子教育長)

宜しいですか。

酒井委員。

酒井委員)

専門的過ぎて少し分からない所もありますが、今後検討するという事で了解致しました。その上で、区立の学校施設は、どういう方針で運動場整備をするのか、全体の方針の中で、校種によって、中学校の方は部活動等があるなど色々な理屈がついて、こっちの方でという。そういう組立てをお示し頂けると、全体の、区としての考え方がよく分かると思えました。

学校施設課長)

実際おつけしている改定後、改定前におきましても、運動場整備方針としまして、目的

と運動場に求められる機能、こういったものを校種によって考えていくのかという所をまとめたものでございます。それらを踏まえての整備方針はこのように定めているという所でご理解頂ければと思います。

金子教育長)

特に中学校の方は部活動重視というところがあります。土という事ですが、今度は散水の問題が出てくるという事で、色々工夫してという状況です。

宜しいですか。

酒井委員)

ありがとうございます。

金子教育長)

他にございますか。

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

私は人工芝を使っていたので、人工芝は、部活動だけではないと思っています。

金子教育長)

ご経験者ですか。

樋口委員)

人工芝の方が格段に怪我は少ないです。

金子教育長)

怪我が少ない。そうですか。

樋口委員)

全く違います。長さによっても色々あるので、何とも言えないのですが、初めのうちは、結構足をとられるなどするのでありますが馴染んでくると、本当に怪我が違いますし、怪我の度合いだけではなく、質的なものもあるので、中学校だから人工芝という、それだけだと理由づけは少し弱いと思うので、色々なものを参考になさると宜しいと私は思います。

ですが、朝日小学校がいつ人工芝になったのか、私全然記憶になくて申し訳ないのですが、その頃の人工芝とは全く違いますし、私が使っていた人工芝より今はもっともつといはずなので、そのようなことも研究して頂けるといいかもしれません。

朝日小学校の人工芝が改修されるときに、また全天候型の塗装になるというのはどうなのかと、思いながら聞かせて頂いたので、少し幅を持ちながらいろいろ検討していかれると宜しいかと思えますし、私も酒井委員のおっしゃる通りだと思います。区として、どうしたいかというのが見えないので、4年ごとに改定するのですか。

金子教育長)

決まっていましたか。

学校施設課長)

今回、たまたま24年、29年、令和4年と5年刻みになっておりますが、現状、近隣

区での整備状況を拝見する機会もありまして、こうしたものも検討の幅として、加えたいという思いからのものでございます。特に改定の時期等は定められておりません。

金子教育長)

樋口委員。

樋口委員)

分かりました。いろいろな大所高所から見て、必要だと思いますので、研究してください。お願いいたします。

金子教育長)

ご指摘ありがとうございます。「人工芝」という言葉が出てくると、恐らく、説明にいったときも嫌だという人はあまりいないと思うのですが、まだまだ値段が高いですから、どこでも全部これで良いとは簡単に言えないという立場が、行政の側にはあるのです。そうは言いながら、良くなってきて、メンテナンス費も落ちてきています。5年もすれば、全く様子が変わるという気もしますので、少しその辺も感じられるように、場合によってはその説明の中で、補完して行って頂ければと思います。

書き換えまでは宜しいですか、先生。

では、基本的な所はご理解頂けたと思います。特に安全面から見たときの人工芝の費用対効果もありますので、両方考えないといけないですが、それについて、また検討して欲しいという付言があったということでご理解頂きたいと思います。

宜しいでしょうか。

大変深まりました。ありがとうございます。

それでは、整備方針の改定については、ご了承頂いたということですが、今のご意見を踏まえて、今後対応して行って頂きたいと思います。ありがとうございました。

(委員全員異議なし 協議事項第4号了承)

#### (6) 報告事項第1号 新型コロナウイルス感染症の発生状況等について

金子教育長)

続きまして、報告第1号に参ります。新型コロナウイルス感染症の発生状況につきまして、ご説明をお願いします。

学務課長。

<学務課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

インフルエンザは出てきているのですが、学級閉鎖に至るようなものは一つもないということです。

学務課長。

学務課長)

まだございません。

金子教育長)

分かりました。

5類になるとインフルと同じという取扱いになるのですか。いろいろニュースは出ていますが。大澤委員、ご意見ございますか。

大澤委員)

原則的に、ウイルス感染症に2種類感染するというのは理論上ないです。

金子教育長)

ないですか。

大澤委員)

ないです。コロナに感染していて、インフルエンザと同時でなくて、どちらかというのが今までの常識ではありました。ところが、報告がはっきりして、コロナにかかっている、インフルエンザという報告もあります。学界の常識が一体どうなってしまったのか、よく分からないです。

現実問題、私共の現状では、インフルエンザは大体1週間に一人ぐらいです。暮れは何人かいましたが、落ち着いているのか、よく分からないです。

先程も言いましたが、町の中に無料PCRがあると思いますが、自己責任でやりますから医者がするのとは少しわけが違って、陰性に出る確率が結構高いと思います。法人格を持っていれば誰でも申請出来ます。

金子教育長)

学務課長に分かる範囲でいいのですが、いわゆる全数調査をやめたということがあって、この後また報告がある、本当に、これは全部の数字を把握しているのかという思いを持ちながら、お休みの子が多いので心配です。ここに出てくる数というのは、学校からの報告等々でいつものように把握していると思うのですが、そこには変化はないと捉えていいですか。全数把握やめましたということでの数字の見方です。

学務課長、どうぞ。

学務課長)

インフルエンザもコロナも、東京都に感染が確認された全数の報告を行っております。現在のインフルエンザの状況を踏まえると、コロナの位置付けが変更になっても、数字で感染状況は一定程度把握できるものと考えています。

金子教育長)

そのような学校を通じての把握の仕方ですが、いわゆる一般的な大人、豊島区では何人と出ていると思うのですが、前とは違うという認識も少しあります。その辺り、全体の数字分かっていますか。

学務課長)

高齢者とか、基礎疾患のある方とか、子供はおそらくその数字に入っていなかったという認識です。限定された層での流行というトレンドを見ているのかと思います。保健所な

どが発表しているものと若干ずれてくる可能性もあります。一方で区の教育委員会で把握している感染者数は、保護者からの申告に基づいていますので、基本的には全数が把握できていると考えています。

金子教育長)

そうですか。大人でも医者に行って検査して、はっきり判定されたと診断されたら医者は届けますか。それは義務ではないのですか。先程そういう話題になりました。基礎疾患がある方なら届けるが、若い人なら届けなくていいという感じなのですか。

学務課長)

私の認識だと保健所に報告するというのが、限定された形か、保健所に報告しないのかという認識です。業務の負荷を減らすという意味でそうしたという認識をしています。

金子教育長)

私も一時そうだと思っていました。昨今、出ている東京都で今日も何人ですとか、先週より低いとか、高いとかというのが、どの程度の意味があるのかという事も感じたものですから、その数字の第7波と違うと言っても、意味あるのかという部分があります。

これは私の主観ですが、もしも、潜在的に多いのだとすれば、家庭内で、その子がかかれば報告が来ますが、濃厚接触ぐらいなら、報告が来ない場合もあるかもしれません。あるいは少し怖いから休ませる方も、もしかしたらあるのかと思います。また、この辺はいずれ機会を見て、保健所長に正しい事を確認してまいります。

どうぞ、大澤委員。

大澤委員)

コロナが流行る前のインフルエンザの全盛期には、大体10万人位がかかっています。そのうち、死亡者数は、200人位いるのです。発表されていませんが、コロナの場合はそこまで死亡者数がいかないです。インフルエンザの場合は、インフルエンザ脳症になって治療する間もなく亡くなってしまうというのが死亡例なのです。誰がかかるか分からない脳症になる確率は、分かっています。ただ、インフルエンザの予防注射の意義というのが脳症の発生確率を下げると言われています。それで、インフルエンザ脳症になると、75%位ぐらい亡くなってしまいますが25%まで下がると言われています。どこまでそれが本当なのかよく分かりませんが、そういうことを理由にして、予防接種をやりなさいと言っていることは確かです。

金子教育長)

その辺りも5類論議が深まると、インフルとの比較は、たくさんニュースになると思うので、注目していきたいと思います。

宜しいでしょうか。

今日の所は、この報告で了解いたしました。

(委員全員異議なし 報告事項第1号了承)

(7) 報告事項第2号 令和4年度3学期始め出席状況調査の結果について

金子教育長)

続きまして、報告第2号へ参ります。令和4年度3学期始めの出席状況調査の結果について、先程の件です。

お願いします。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

ご報告が終わりました。説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

大澤委員)

少しいいですか。

金子教育長)

どうぞ、大澤委員。

大澤委員)

暮れから1月にかけて、小さい子、大人も中にはいますが、体調不良というか、感染性胃腸炎がぼろぼろ出ています。

金子教育長)

流行っていますか。

大澤委員)

発熱はありませんが、下痢、嘔吐があるから、学校には行かれません。ですので、それにかかって、コロナ前に管理しているのかもしれない可能性はあります。

増えているのは確かに、その中に感染性胃腸炎がどういう形で織り込まれているのかは分からないです。

金子教育長)

ありがとうございます。

他にございますか。

どうぞ、酒井委員。

酒井委員)

こういう形で定点ですとか、日にちを決めて、欠席状況をとってくださることは非常に大事だと思っています。その上で、中学校でほぼ1割の生徒が欠席しているという状況で、授業が非常に心配です。グレーと、ご説明ありましたように、黄色のその他の部分が、その背景は個々で非常に多様だとは思いますが、少し精査していく必要があるかと思えます。前も申し上げたかもしれませんが、今やはり不登校の部分だけではなくて、欠席全体を見ていく必要があると思っています。この欠席、やはり罹患事情をきちんと把握して、対応を練っていきませんか、10年くらい前と比較すると、ものすごい数なので、やはり何らかの対応が必要だと考えます。

不登校対策の中に、欠席全体の把握という所の方針といいますか、方向を取って頂く必

要があると思いましたが。以上です。

金子教育長)

ありがとうございます。

村瀬委員。

村瀬委員)

全て分かりやすい棒グラフだと思うのですが、小学生も中学生も含めて、学年が分かると、すごく分かりやすいと思います。例えば、受験前ですので、小学生も中学生も最高学年の方が多いのだと勝手に想像はします。私の周りでも2週間前ぐらいに、胃腸炎が、とても流行っていました。保育園でも流行っていきまして、半分ぐらいがお休みする程でした。

コロナにかかったご家族がいましたが、学校に行かせたいから、そのまま何も言わずに行かせてしまうとか、逆に大事を取って、コロナではないけれども、家にいるという、色々なパターンがあり、本当にご家庭の方針だとは思いますが。なかなかそこを先生たちが引っ張り出してくるのは難しいです。去年よりも更にコロナの生徒に受験を別日にしてくれるということが、なくなってきてしまっていますので、保護者の中では危機感があります。

金子教育長)

かかったら大変だと。

村瀬委員)

年齢も65歳以上ではないので、医者に行っても陽性になったとしても、医者がそのまま保健所に言うわけではなく自分で登録して下さいという感じです。自分で登録して下さいというので登録しない人もいますし、東京都からのグッズが貰いたいとか、ホテル療養したいとか、健康観察をして欲しいとか、パルスオキシメーターを貸して欲しいなど、受けるには必ず、自分で登録しなければいけないのですが、別にそれは要らないからという人は、結構な割合で登録をしていないので隠れコロナというか、見えていないコロナの人がたくさんいるのではないかと思います。皆無事に受験して欲しいと思います。

金子教育長)

他ございますか。

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

皆さんから大切なご指摘を伺って、私も勉強になります。世の中変わりましたが、まさかそういう話題が学校の中の主流になるとは思いもしませんでした。それぐらい重要なことなので、それは致し方ないのですが、少し視点を変えて、本来ならば、不登校の子供たちをどのように減らすかということが話題になって話し合っていたはずなのに、これはあまり変わっていないから、置いておいてと、せざるを得ない。したいのに、せざるを得ないこの状況、どうしていったらいいのかと思います。私はこれからの部分、公立学校をどうしていくか。本当に、真剣に悩まなくてはいけない時なのではないかと、今までとは違

った視点を入れて、考えていかななくてはならないと思いました。

病気が治ったら学校へ行って、みんなと勉強して、みんなと遊ぶのは楽しいという学校をつくっていくかどうかです。そこがポイントになってくるであろうと思っています。

コロナのこともそうですし、タブレットが入ったことで、自分で家でも勉強出来るということが当然になり、これはもちろん良いことでもありますが、隠れみのにもなってしまい、人と関わる力とか、物や事と関わる力などがとても少なくなっていました。そういう子供たち、その子供たちに関わるのは、苦勞しますが、楽しいと、自分が成長出来る達成感みたいなものを私は学校で味合わせたいとつくづく思いました。

すみません。所感になってしまいました。

金子教育長)

他にございますか。

分析としては、いろいろな見方があると私も思います。例えば、左側の小学校でいうと、赤いところのコロナ罹患が昨年と同じ頃は、そんなにありませんでした。そこだけ見ると、単純にいうと、7倍になっています。右側の中学校では5倍になっています。コロナ罹患が間違えない部分が7倍とか、5倍だから、その周辺の部分というのが同じぐらいにあってもいいのかと、私は個人的に思います。

そういう事も、この灰色の部分に、もちろん入っているだろうと思っています。ただ、小学校の方では3倍になっていて、中学校では8倍なので、少し違うのかと思っています。先程、学年の話もありましたが、さらに分析が出来るのであれば、していきたいと思いません。

何かございますか。

指導課長。

指導課長)

学年ですが、6年生だけ調べました。

6年生の割合は64%です。この516人に対して、334人ですので、6年生はそうだろうという所はあって、昨年度と比べる事は出来ていません。昨年度は正直に受験の準備の為、休みますという方がたくさんいた所もあるので、その他に隠れていたのかという事もあるかもしれません。

受験の話では、東京都の入学選抜の課の方のお話で、村瀬委員がおっしゃる通り、受験の振り替えなどを都立は縮小という形ではないのですが、前よりやめようとしていたので、この状況を見ると、また検討しなければという事は言っていました。

金子教育長)

なるほど。

指導課長)

これについては不確定な事なのですが、何となく夏頃、1回収まってきた感じがあるので、元に戻そうとした所を考えなくてはと検討中ですということは言われていました。

以上です。

金子教育長)

色々ありがとうございました。

宜しいでしょうか。また、引き続き、この件についても、動きがありましたら説明頂きたいと思います。

それでは、本件はここまでに致します。

(委員全員異議なし 報告事項第2号了承)

(8) 報告事項第3号 自閉症・情緒障害特別支援学級について

金子教育長)

続きまして、報告事項第3号へ参ります。自閉症・情緒障害特別支援学級につきまして、ご報告をお願いします。

教育センター所長。

<教育センター所長 資料説明>

金子教育長)

ご説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願い致します。

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

ありがとうございます。そうしますと、新たに出来る中学校は新中1が2名で出発をするという解釈で宜しいですか。

金子教育長)

教育センター所長。

教育センター所長)

はい。おっしゃる通りでございます。

樋口委員)

支障のない範囲で教えて頂けたら嬉しく思います。例えば、2番の3番目のお子さん、入級が不適となっておりますが、このお子さん、それから転学を希望して不適だった方、それから3番の3番の辞退した方、こういう方の在籍は通常の学級なのでしょうか。違うのでしょうか。教えてください。

金子教育長)

分かる範囲でいいです。

教育センター所長。

教育センター所長)

様々なケースがありますが、まず今年度に限りましては、年度途中で周知したという事もありまして、先に通常の就学相談委員会に申込みをされている方も情緒固定が出来るのであれば、情緒固定の方に申し込みたいということで申し込まれる方もいました。この中の入級不適という方の場合ですと、例えば知的に課題があつて、その前の就学相談委員会

で知的固定学級が適当ではないかというような判定が出たものですから、情緒固定の委員会で申し込まれたので検討はしたのですが、やはり知的に課題のあるお子さんは入れられないということで不適というような判定をしました。

また、辞退という方もいらっしゃるのですが、この辺りも、例えば3番の3番です。入級、情緒面で課題があり、また診断等もついていて、入級は適当であろうという結果にはなったのですが、結果が出た後、なかなか生徒本人が転校してまで情緒固定に通いたくないというような考えに変わったという事で、親子で相談した結果、辞退ということになりました。

金子教育長)

樋口委員。

樋口委員)

分かりました。ありがとうございます。

ということは、知的固定学級から考えているお子様が現在のところが多いという形なのですか。いわゆる通常の学級で困った感じがおありになっているというよりは、そういう解釈で宜しいでしょうか。

金子教育長)

教育センター所長。

教育センター所長)

今年度に限って、そういう現象が起きてしまったといいますか、来年度は4月から周知をしますので、情緒に行きたい子は情緒1本で申し込むというような形になると思います。今年度のように知的も申し込む、情緒も申し込むというようなことはないと思います。

金子教育長)

今の解釈をすると、来年度以降については、申し込みの時点から分かれるから、こちらで駄目で、もともと知的固定学級の子がこちらにという話は少なくなるかもしれないという感じになり、入り口の所で分かれるということです。

他にございますか。宜しいですか。特にご意見なければ、これで進めさせていただきます。

ありがとうございます。

それでは、報告事項第3号については、了解をいたします。

(委員全員異議なし 報告事項第3号了承)

#### (9) 報告事項第5号 令和5年度周年記念式典の開催日について

金子教育長)

4が抜けているので先に、報告事項第5号を審議いたします。令和5年度周年記念式典の開催日について、ご報告をお願いします。

庶務課長。

<庶務課長 資料説明>

金子教育長)

日程だけ、こういう事で確定させて頂きたいという事でございますので、宜しいですか。7月までの状況までは読めないの、一旦、これはペンディングさせて頂きます。

ありがとうございました。

(委員全員異議なし 報告事項第5号了承)

金子教育長)

残りは4号ですが、これについては人事案件ということなので、申し訳ございません。ここからは非公開とさせていただきます。

<傍聴者退場>

(10) 報告事項第4号 会計年度任用職員(学級運営補助員)の配置について

金子教育長)

それでは、報告事項第4号、会計年度任用職員の任免について、報告をお願いいたします。

教育センター所長。

人事案件のため非公開

(委員全員異議なし 報告事項第4号了承)

金子教育長)

では、以上をもちまして、議案については、全て終了でございます。

特にならなければ、これをもちまして、第1回教育委員会臨時会は閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

(午前11時34分 閉会)